

令和5年度（2023年度）

管理事業名	スポーツ施設事業				総合計画 の体系		大綱 7 都市魅力			
					政策 2		文化・スポーツに親しめるまちづくり			
					施策 3		地域におけるスポーツの振興			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	34	市民体育館費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属		文化スポーツ推進室						
事業の目的と概要										
【目的】 スポーツ施設の設置により、市民の健康の増進を図るとともに、スポーツに親しめるまちづくりに寄与する。										
【概要】 市民体育館5館（片山、北千里、山田、南吹田、目依）、スポーツグラウンド5か所（中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台）、市民プール2館（片山、北千里）、武道館及び総合運動場について、指定管理者制度を導入し管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供する。										
また、市の遊休地2か所（青山台、藤白台）と府からの借用している2か所（新御堂、春日）について、土地の用途が決定されるまでの間、暫定的に地域の住民にスポーツ・レクリエーションの場として提供する。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指 標 の 定 義
施設利用者数	人	749,872	1,045,745	1,134,328	市民体育館、スポーツグラウンド、市民プール、武道館、総合運動場の利用者数
施設使用料収入額	千円	104,773	140,888	151,687	市民体育館、スポーツグラウンド、市民プール、武道館、総合運動場の使用料収入決算額

II 活動実績・成果

【成果指標1】利用者数についての評価 ・利用者数 1,134,328人（前年比：88,583人の増） ・令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や事業の中止となり、利用者数が減少した。 令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類へ移行したことにより、様々な制限が緩和されたことで利用者数が増加した。		市民体育館は平成25年度、スポーツグラウンドは平成20年度、市民プールは平成18年度、武道館及び総合運動場は平成23年度から指定管理者制度を導入している。各施設とも、利用者会議や市民アンケートなどを通して市民ニーズを把握し、民間のノウハウをいかした自主事業等を実施し、効果的、効率的な利用を図っている。
【成果指標2】施設使用料収入額についての評価 ・施設使用料収入額 151,687千円（前年比：10,799千円の増） ・令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や事業の中止となり、施設使用料収入額が減少した。 令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類へ移行したことにより、様々な制限が緩和されたことで各種教室や個人使用、専用使用などの利用者が増加したため、施設使用料収入が増加した。		
【財務情報に基づいた評価】 ・令和5年度は、目黒市民体育館受変電設備改修工事、北千里市民プール管理棟耐震補強工事（建築・機械設備・電気設備）、総合運動場改修工事（防水・建築・機械設備・電気設備）、武道館受変電設備及び中央監視設備改修工事等を実施。 ・施設老朽化比率はスポーツ施設全体で62.2%となり前年度より1.6ポイント増加した。 ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し施設使用料収入が増加したことから、受益者負担比率が0.7ポイント上昇（8.6%→9.3%） ・コスト全体の59.2%を物件費が占め、そのうちの約95.6%を指定管理委託料（919,764千円）が占めている。また、減価償却費がコスト全体の約28.0%を占めている。		

III 課題と今後の取組

各スポーツ施設について、今後も効果的、効率的な活用ができるようハード面・ソフト面の両面から検討していく必要がある。施設の老朽化に伴い、補修の実施だけでは施設の維持管理が難しくなっていることから、今後のスポーツ施設については、スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）に基づき、（仮称）スポーツ施設整備計画を策定し、計画的に整備していく必要がある。また、更なる利用率の向上のため、施設の多目的、多目的利用の検討を進めていく。		
--	--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	103,552	107,715	4,163
未収金	61	59	△2	地方債	98,067	101,894	3,827
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,066	2,402	336
徴収不能引当金	△1	△1	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	3,419	3,419	-
有形固定資産	24,496,769	24,246,405	△250,364	その他流動負債	-	-	-
土地	16,803,988	16,803,988	-	固定負債	720,822	858,380	137,558
建物・工作物	7,679,676	7,432,731	△246,945	地方債	692,500	831,006	138,506
リース資産	13,105	9,687	△3,419	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	18,636	21,106	2,471
無形固定資産	-	-	-	リース債務	9,687	6,268	△3,419
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	824,374	966,095	141,721
建物・工作物	-	-	-	純資産	23,958,755	23,594,750	△364,004
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	286,300	314,383	28,083				
図書館資料	-	-	-	純資産の部合計	23,958,755	23,594,750	△364,004
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部 合計	24,783,129	24,560,845	△222,283
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	24,783,129	24,560,845	△222,283				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	104,704	140,937	151,684	10,748
国庫支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
府支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	37,119	26,972	36,717	9,746
経常収入 小計 (a)	141,823	167,908	188,401	20,493
給与関係費	23,016	23,936	26,092	2,156
物件費	960,074	1,014,427	961,767	△52,660
維持補修費	11,885	22,209	172,139	149,930
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	33	111,047	12	△111,035
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	444,932	459,605	454,987	△4,617
徴収不能引当金繰入額	-	1	-	△1
賞与引当金繰入額	1,970	2,066	2,402	336
退職手当引当金繰入額	1,992	1,535	3,559	2,024
支払利息	3,069	2,822	2,945	123
その他	45	-	-	-
経常費用 小計 (b)	1,447,016	1,637,648	1,623,902	△13,745
経常収支差額 (a)-(b)=(c)	△1,305,193	△1,469,739	△1,435,501	34,238
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	2,493	3,012	519
特別収入 小計 (d)	-	2,493	3,012	519
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計 (e)	0	-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)	△0	2,493	3,012	519
一般財源調整額 (g)	-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)	△1,305,193	△1,467,246	△1,432,489	34,757
一般財源充当額	1,180,388	1,037,253	1,036,401	△853
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△124,805	△429,993	△396,088	33,905

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	141,891	167,859	179,219	11,359
行政サービス活動支出	1,001,630	1,178,061	1,166,108	△11,953
行政サービス活動収支差額	△859,738	△1,010,202	△986,890	23,312
投資活動収入	17,875	45,493	35,096	△10,397
投資活動支出	281,449	44,093	223,521	179,428
投資活動収支差額	△263,574	1,400	△188,426	△189,825
財務活動収入	-	73,000	240,400	167,400
財務活動支出	57,076	101,451	101,486	35
財務活動収支差額	△57,076	△28,451	138,914	167,365
収支差額 合計	△1,180,388	△1,037,253	△1,036,401	853
一般財源充当額	1,180,388	1,037,253	1,036,401	△853
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建築・工作物	スポーツ施設の減価償却による246,945千円の減
【BS】 重要物品	山田市民体育館、南吹田市民体育館、総合運動場のトレーニングマシン等購入による重要物品の28,083千円の増
【PL】 維持補修費	総合運動場改修工事（建築、防水、機械設備、電気設備）、目黒市民体育館受変電設備改修工事、北千里市民プール管理棟耐震補強工事等（建築、機械設備、電気設備）の実施に伴う維持補修費149,930千円の増
【PL】 負担金・補助金・交付金等	前年度に実施した総合運動場 電光掲示板改修工事による負担金111,035千円の減

単位当たりのコスト分析（「経常費用 小計(b)」÷「実績」）

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者1人	コスト 1,930 円 実績 749,872 人	コスト 1,566 円 実績 1,045,745 人	コスト 1,432 円 実績 1,134,328 人
開館1日	コスト 367,077 円 実績 延べ3,942 日	コスト 349,551 円 実績 延べ4,685 日	コスト 343,828 円 実績 延べ4,723 日

分析 経常費用が前年度との比較で減少したと併せて、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し施設利用者数が増加したため、施設全体での利用者1人当たりのコスト及び開館1日当たりのコストが前年度より減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	31,241	711	3.50
会計年度任用等	728		
特別職非常勤	84		
合計	32,053		

分析指標

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		58.4	60.6	62.2	1.6
施設維持補修費比率		0.1	0.1	0.9	0.8
経常費用対公共資産比率		7.4	8.4	8.2	△0.2
徴収不能引当率		-	2.0	2.0	0.0
受益者負担比率		7.2	8.6	9.3	0.7
一般財源充当比率		88.1	78.4	69.5	△8.9